

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 09-04-01	事務事業名 雨水溢水対策事業(貯留槽の設置等)	所管部課 都市整備部 下水道課
-------------------	----------------------------	-----------------------

施策コード 安2-1	施策名 災害に強いまちづくり	施策目標 市民の生命や財産を守るため、防災基盤の整備を計画的に進め、災害に強い安全・安心なまちづくりをめざします。
---------------	-------------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	雨水幹線の整備が市全体で面積率3%とほとんど整備されていないことから、集中豪雨に伴う道路冠水等、市内溢水地域の解消を図る。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等/補助の概要:補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 集中豪雨に伴う道路冠水等、市内溢水地域を調査・把握するとともに、溢水箇所に応じた浸透・貯留槽の設置や既設管改修工事等を実施している。事業着手は平成12年度で、総合計画に位置付けた「災害に強いまちづくり」の一つとして毎年度計画的に実施している。	
事業開始時期	12 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		384,967	508,458	200,444	128,400
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		143,500	95,230	86,832	0
地方債	千円	173,800	291,600	88,300	0
その他( )		0	0	0	0
一般財源		67,667	121,628	25,312	128,400
所要人員(B)	人	2	1.3	1.3	1.3
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	16,330	10,504	10,504	10,615
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	401,297	518,962	210,948	139,015
単位当たりコスト(E)=(D)/(貯留量)	千円	234	229	493	2,113

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
① 貯留量	実績値 箇所	1,717	2,266	428	65.8
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一 対策箇所数	目標値 箇所				2
	実績値 箇所	2	2	3	
二 未対策箇所数	目標値 箇所				
	実績値 箇所	43	41	38	
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
近年の異常気象により、1時間当り50mmを超える局地的集中豪雨が多発している。また、土地利用状況に伴い溢水箇所の増加が予測される。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	溢水地域周辺住民からの対策要望が多く寄せられている。
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 分流式、地形、河川整備状況により比較が難しい。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 類似・代替サービスはない。

事業コード 09-04-01	事務事業名 雨水溢水対策事業（貯留槽の設置等）	所管部課 都市整備部 下水道課
-------------------	----------------------------	-----------------------

施策コード 安2-1	施策名 災害に強いまちづくり	施策目標 市民の生命や財産を守るため、防災基盤の整備を計画的に進め、災害に強い安全・安心なまちづくりをめざします。
---------------	-------------------	--

【一次評価】

検証項目		ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>近年、都市型集中豪雨が多発し、降雨量も増加傾向にあるため、今後も市内溢水箇所が増え続けることが想定される。今後は、「西東京市公共下水道プラン」の「安全・安心で快適な暮らしの実現」に位置づけているように、河川の整備にあわせ総合的かつ段階的な整備計画を立てながら推進していきたい。</p> <p>また、公共下水道事業との連携事業を進めることにより、財政効果も見据えた推進をする。</p>	
	事業の 必要性	3	<input type="checkbox"/> 継続実施		
	事業主体の 妥当性	3	■ 改善・見直し		
B	直接のサービスの 相手方	2	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し		
	事業内容等の 適切さ	2	<input type="checkbox"/> 休止		
	受益者負担の 適切さ	3	<input type="checkbox"/> 廃止		
C	市民ニーズの 把握	2	<input type="checkbox"/> 廃止		
検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目					

【二次評価】

検証項目		ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>これまでの溢水対策としては、近接する公共施設への貯留槽の設置や道路への浸透枘の設置によって対応してきたが、今後はこれらの対応策に加えて、公共下水道事業の整備に合わせた対策も視野に入れ、特定財源の確保を図るべきである。また、溢水箇所の把握や対策実施計画について調整・検討する庁内組織の設置についても検討すべきである。</p>	
	事業の 必要性	2	<input type="checkbox"/> 継続実施		
	事業主体の 妥当性	3	■ 改善・見直し		
B	直接のサービスの 相手方	2	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し		
	事業内容等の 適切さ	2	<input type="checkbox"/> 休止		
	受益者負担の 適切さ	3	<input type="checkbox"/> 廃止		
C	市民ニーズの 把握	2	<input type="checkbox"/> 廃止		
検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目					

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>雨水溢水対策については、都市型集中豪雨が多発している近年の状況を踏まえながら、対策が必要な箇所ごとに適切な手法を検討しながら優先順位付けを行い、計画的に事業を推進していく必要がある。二次評価で指摘されているように、公共下水道の整備に合わせた対応も視野に入れ、特定財源を確保しながら効果的・効率的な事業推進に努められたい。</p>